

# 会議記録（公開用）

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 25 年 10 月 25 日(金曜日)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 45 分頃まで
会議名	丸子地域協議会(平成 25 年度第 7 回)		
出席委員	斎藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、北村好美委員、小宮山好豊委員、齊藤實委員、清水三枝委員、竹花和彦委員、竹花節子委員、永井正一委員、松山慶子委員、宮崎涼委員、村松正孝委員 【欠席委員】工藤裕子委員、久保田和英委員、佐藤重喜委員、中澤ゆかる委員、宮坂雄一委員、宮下正明委員)		
市側出席者	片山丸子地域自治センター長、芹澤センター次長兼地域振興課長、水野地域振興課政策幹兼丸子地域教育事務所長、清水市民生活課長、高野健康福祉課長、丸山産業観光課長、滝沢上下水道課長、金井建設課管理係長（建設課代理出席） 翠川地域政策担当係長、清水地域政策担当統括主査、澤山地域政策担当主任		

<会議場所：丸子地域自治センター 4階講堂>

## 会議次第

- 1 開会（センター次長）
- 2 あいさつ（会長）

皆さんこんにちは。第7回の丸子地域協議会を開催しましたところ、委員の皆さんにはお忙しいところご出席いただきまして有難うございます。本来ならば、秋の一番いい季節ですが、先週の第25号の台風、また、今27号、28号で悩まされており、台風による被害が無いように心から願いたいと思います。

本日は、わがまち魅力アップ応援事業の今年度3回目の審査という事で、2件の応募が出ています。審査をよろしくお願いします。また、本日は2件の意見書の提出の検討も考えておりますのでよろしくご審議をお願いします。

わがまち魅力アップ応援事業の関係につきましては、条件付採択などの複雑な関係がございますので、今後の団体の活動等に影響があることもありえますので、非公開にての審査をお願いしたいと思います。

大変、ご苦勞様でございます。

- 3 平成 25 年度わがまち魅力アップ応援事業（第3回募集分）選考審査（進行は事務局）

- (1) 応募者のプレゼンテーション（各 10 分間）及び質疑（約 5 分）

- ①ロスチャイルド記念ガーデンの会：『ロスチャイルド記念ガーデン』整備事業（後日改称）  
（事業目的・内容・効果）

西内地域特産のレンゲツツジを、地域特産の苗木として位置づけ植栽・生産し、これにより他では見る事の出来ない景観造成を行いながら、新たな誘客ポイントの一つに育て上げることを主な目的とする。また、景観の中での“花”を楽しむだけではなく、景観づくりに多くの地域住民が参加して苗を育て、地域内外の愛好者がこのポイントを中心に交流することで、新たな交流人口の増加と心の輪の広がりが期待される。

レンゲツツジの親木用圃場（50アール・2箇所）を公園として拡張整備し、景観造成を行う。

隣接耕作放棄地なども伐採・抜根し、圃場として整備する。

世界中で栽培されている品種（200種ほど）を輸入して増やし、植栽する。

## ②中丸子やまびこ会：『中丸子親水広場整備事業』

（事業目的・内容・効果）

花と緑のまちづくりを進めるため、荒廃した周辺地域の環境を‘潤い空間’としてよみがえらせる。周辺地域の環境美化が広がり、住民の交流が生まれることで地域を活性化させる。また、子どもたちが自然に接し心豊かに育つことを願い、世代を超えたコミュニティの場とし、地域への愛着を深める。

丸子北中のコスモス大学の依田川探検教室や、市教育委員会の小中学生を対象とした親子ふれあい体験教室など、通年でこの場所を使い地域と子供たちが触れ合いながら環境について考える活動を行っています。

## (2) 選考審査（非公開）

### 4 報告事項

#### (1) 分科会及び研究会での検討状況について

##### (ア) 地域の産婦人科医療を考える研究会

（会長）研究会ではアンケートを9月に実施しました。委員の皆さんは大変お疲れ様でした。アンケートは住民の声や現場の意見が集約されたアンケート内容であると感じています。アンケートの詳細と今後の活動内容について副会長からお願いします。

（副会長）前回、アンケートの実施について報告しました。43人の方から聞き取り調査を致しました。結果がお手元にございます。最初に、アンケートにお答えくださった方々に感謝を申し上げます。今回は集計のみで、まとめまでは行っておりません。次回の研究会でアンケートの結果の考察を行いまして、その結果、研究会としてどういう結論を出していったらいいか。研究会としまして、2年にわたり色んな研究、勉強会をしてきました。このアンケートで見えるところが随分出てきたと思っています。今後話し合っ、分科会に移行させていくのか、意見書を提出するのか、その辺を担当委員の皆さんと話し合い、方向付けをして、また全体会で報告したいと思います。

アンケートをご覧になりまして、意見等がありましたらお寄せいただきたいと思います。

<質疑・応答>

なし

##### (イ) その他

その他の分科会・研究会からは報告なし

### 5 協議事項

#### (1) 信州国際音楽村公園整備に関する意見書について

（会長）前回の会議では、信州国際音楽村のバラ園の関係で熱心に審議を頂きました。今回はこの検討を踏まえて、意見書の方向をバラ園に限定するのではなく、公園全体の整備という内容の提案になっています。丸子地域にとって信州国際音楽村一帯は観光拠点として定着してきており、それを更に整備することは丸子地域にとって重要なことであると考えます。それでは、事務局より意見書案の説明をお願いします。

（センター次長）（意見書案の説明）

1. 件名 信州国際音楽村公園整備に関する提言

2. 意見内容 信州国際音楽村は、カラマツの集成材を骨組みに使用し、音響的にも大変優れた「ホールこだま」や、烏帽子岳から浅間山にかけてのダイナミックな眺望を背景に堂々とたたずむ「パノラマステージひびき」を中心に、音楽と芸術の文化拠点として、旧丸子町時代から整備が進められてきた、丸子地域の想いが募る大切な憩いの場です。

平成23年10月には、芝生公園や眺望広場などの整備が完了し、信州国際音楽村公園として新たな文化振興と地域交流の拠点としての展開が始まり、春から夏にかけては、すいせんやラベンダーなどの美しい花々の景観により、市の内外から多くの来場者があり、新たな観光拠点としての賑わいを見せています。

丸子地域協議会では、本年7月に現地視察を行い、現状を確認したところ、ほかの公園にはない浅間山を望む見事な眺望を活かしながら先を見据えて継続的に整備を進めることで、特色ある新たな美しい空間を創造できる可能性を秘めていることを確認しました。

また、公園内の花々の植栽や管理については、永く地元自治会を始めとした熱心なボランティアの皆様にご協力をいただいております。今後も公園の基盤整備を進めながら関連団体との連携を継続することで、地域と行政が一体となった市民協働のモデルスタイルの一つとして、地域の誇れる場所となると考えられます。

つきましては、美しく親しみのある憩いの空間を創り上げることを目的として、丸子地域協議会では、信州国際音楽村公園の施設整備などについて、今後も継続的な整備を進めるべく下記のとおり提言します。

記

1. 春から秋にかけて、地域全体を美しく彩る花々を中心として、公園全体に流れる音楽に心癒されながら、誰もが安心して楽しめる美しい憩いの広場となるよう、施設整備や接道整備などを含めた信州国際音楽村公園の整備を継続的に進めることを提言します。

<質疑・応答>

(委員) 記1について、施設整備や接道整備とあるが、施設整備とは具体的に何を指すのか。前回は、整地事業という位置づけだったと思うのですが、公園の下のほう、全体的に石が多くそれらを除去しないときちんとした植栽などが出来無いと言う話があったが。接道整備という形になると道の整備と言う風になれるが、もう少し道だけではなくて、あの地域全体を整地するという形での表現にしていいただいたらどうかと思います。

それから、蛇足ではありますが、「公園全体に流れる音楽に心癒されながら・・・」とあるが、いつも音楽が流れているのかどうか。このへんの表現はこれでいいのか。この辺も含めて全体的に表現を検討したほうがいい。

(センター次長) まず、施設整備についてですが、先日の現地視察の際にもお話がありましたが、植栽をする上での土地の整備が一つと、そこに水が流れ込んでしまうということで水路などの設備も必要になってくるということ。接道の整備につきましては、今はホールこだまの方から下っていくという道、急な道ですが、下に駐車場もあります。普段は通行止めになっています。下の茂沢側からの接道ということを指しています。

御指摘の表現については、いつも音楽が流れているというわけではないが、野外音楽ス

ページなどからは音楽が音楽村全体に流れるといったイメージで書かせていただいたものです。

(委員) もう少し具体的に、何をしたいのかと言うことをきちっと書いたほうがいいのではないのでしょうか。これだと、あとで説明するような形になる。具体的にみんなが何を望んでいるのかと言うことをもう少し具体的な表現で是非書いていただけたらと思います。

(センター次長) 今分かっているものと、今後事業を展開していく中で新たなものが出てくる可能性もあると思うのですが、具体的に謳ってしまうとその次の事業についてまた支障が出ることも考えられる。

(会長) 前回の会議では、バラ園ということが全面に出たので、バラ園だけではよくないということで検討いただいたわけですが、これ以外にも例えば建物などにももし何かあれば、折角意見書を出すのでどんな形がいいのかご意見いただければと思います。

〇〇委員さん、具体的に申しますと・・・・・・・・。

(委員) 前回では整地という言葉を経営者も使っておられましたが、これで整地ということが許されるかどうかということなので。もう少しあの場所の将来を考えて、植栽などが出来るような条件を整えてもらえるよう意味合いが十分受け取れるならいいのですが。施設整備と接道整備という表現から、整地と言うことを汲み取ってもらえるのかどうか。私は、これを読んだだけでは、なかなかイメージが湧いてこない。

(会長) 他の方はいかがでしょうか。言葉の言い回しなどについてもどうでしょうか。再度、持ち帰って検討することも十分可能です。意見書を出す以上は、いいものにして提出したいと思います。

(委員) 前回の協議会で、〇〇委員の方から、子どもも楽しめる公園と言う提案がありましたし、会議以外で〇〇委員の方からも、合併前のワークショップでお母さん方が色々な意見を出されていたことも伺いました。誰もが安心して楽しめる美しい施設整備とは、具体的に出すのではなく、子どもでも楽しめる施設整備・公園という方向へもっていけるような抽象的なほうがいいのではないかと私は思います。

(会長) 文章にするのはなかなか大変なことだと思いますが、付け加えたほうが良い点とかがありますか。具体的と言う意見もありますし、抽象的にしたほうがよいという意見もあります。そのあたりがまとまらないと提案するにも難しい。

(センター次長) 施設整備について、整地したり耕したりする場所が施設整備に含まれるのかという村松委員のご指摘ですが、大きな意味では芝生公園にある未整備の場所がありますが、これを整備することも施設整備に入ると解釈いただいても大丈夫だと思います。

(委員) そういう風に理解できるということなら、それで了解です。

(会長) 概ねはみなさんのご了解を頂いているかと思えます。文章的に再度事務局と相談しまして、次回、出せる意見書という中でもう一度ご審議いただいて決めて行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

## (2) 地域経営会議の設置に関する意見書について

(会長) 前回の会議で〇〇研究会長から報告書の提出を受け、意見書を提出することで皆さんの了解を得たものでございます。本日はその意見書の内容について、皆さんからのご意見をお願いしたいと存じます。それでは、事務局から意見書案の説明をお願いします。

(センター次長) (意見書案の説明)

1. 件名 地域経営会議の設置に関する提言
2. 意見内容 丸子地域協議会では、「地域内分権と住民自治組織」を地域の重要課題として位置づけ、協議会内に研究会を設置し、他市の事例などを参考にしながら研究を進めて参りました。

この研究の成果として、平成 25 年 9 月に開催した全体会議へ報告書が提出されました。丸子地域協議会では、この報告内容を基にして、地域内分権をさらに進めるべく下記のとおり提言します。

記

「丸子地域協議会を主体として、丸子地域の「地域経営会議」を早期に設置すること。」

<質疑・応答>

(委員) 意見書として提出できるように進めて頂きまして、大変有難うございます。他の地域協議会で、こういった形で、地域経営会議に関する市への働きかけについて何か働きかけがあるか、お聞きしたい。

(センター次長) 地域協議会の意見として上がっているものは、現在のところ聞いておりません。一番進んでいるのは川西地区ですが、地域協議会の中ではこういった意見があがったということは、聞いておりません。

(会長) 正副会長会長会の中でも大変難しい問題とのお話が多いわけですが、具体的にこのような動きになっているところはございません。

ご意見が無ければ、前回の第 6 回協議会で〇〇研究会長から提出のありました報告書をつけまして、この意見書を提出したいと思いますですがよろしいでしょうか。

(会長) ご意見が特に無いようですので、本意見書を提出します。

## 5 その他

### (1) 次回以降の協議会日程について (事務局より説明)

11 月 28 日 (木) 午後 1 時 30 分～ 丸子地域自治センター4 階講堂

12 月 17 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 丸子地域自治センター4 階講堂

### (2) その他 (事務局より説明)

#### ・「地域内分権」研修会の開催状況について (報告)

(地域政策係長説明) 平成 25 年 10 月 11 日に実施された自治会長・地域協議会委員を対象とした研修会の開催状況報告。研修会内容は長野市と飯田市の事例研修。

#### ・旧海戸団地分譲計画について

(センター次長説明)

土地の概要 所在：上田市上丸子 772 番地他 9 筆

面積：3,958.53 m<sup>2</sup>

地目：宅地

社会情勢の変化により、海戸自治会でも少子高齢化が進んでおり、自治会の運営において、参加者減少などの大きな影響を受けている。この現状を打開する一つ的手段として、旧海戸団地を住宅用地として分譲して居住者数を増加させ、地域活力を維持しながら世代間交流の活性化へつなげたい。(海戸自治会からの要望)

普通、公有地が空いた場合には、地域で使いたいという公園とかが多いのですが、分譲という話は珍しい。行政側とすると、空いている土地で、公有地につかう目的のない不要な財産は処分するのが大原則です。普通は、地域で使いたいので売却しないで欲しいとの要望が多いのですが、分譲の要望は珍しい。地域の少子高齢化の重要な問題が窺われます。行政としても、なんとか答えて行きたいと考えています。

現地は、日当たりが悪い土地、とりわけ朝日が当たらない土地でございます。現地の道路も狭く、車のすれ違いも出来ない土地。傾斜がきついで切土・盛土が増えて、効率が悪い土地です。これについて、概算を行ったところ工事費が高い。工事費よりも分譲価格が下回ってしまう。しかし、住んでもらわないと困るのであまり高い分譲価格には出来ない。地域の人口減少の歯止めになるように市としても何とかしてやりたい。ただ、市としての売却事例は無い。本来ならば、やらないということになるのですが、地域の状況に鑑み、地域を助けるという意味で、持寄り基金をこの中に活用してでもやったほうがいいのではないかと考えています。次回の11月の協議会に資料を添えて皆さんに提案して、ご審議を頂きたいと思っております。本日の報告は、次回の提案をご承知いただきたいというものでございます。

(会長) ただ今の事務局の説明に対してご質問はございますか。

(委員) 次回の会議資料として、市場調査のデータもお願いしたい。今、土地があまり動いていないので。本当に売れるのかどうか、周辺の市場調査を付けて頂きたい。

(センター次長) 土地が動いてない状況は把握しているが、市場調査ということで何処まで出来るかは難しいと思っております。

(委員) 近隣で土地が動いているかなどの簡単なものでいいです。

(センター次長) 分かりました。出来るだけやってみるということでお願いします。

#### ・その他

(委員) 23日の信毎の記事に飯沼自治会の記事が大きく掲載されました。誤解のないように皆さんにはっきり申し上げたい。飯沼自治会は、太陽光発電に対して反対しているものではなくて、造る場所について反対していることをご理解頂きたい。

(委員) 先ほど副会長の方から「丸子地域で子どもたちを安心して産み育てるためのアンケート調査結果」についての報告がありました。このアンケートの最後のほうの最終質問に、市や地域協議会へのご意見が出ております。内容はまた見て頂きたいのですが、信州国際音楽村の公園の整備のことについても関係のある意見があります。是非、お読みいただきたいと思っております。

(副会長) アンケート結果については丸子地域協議会のホームページに掲載してあり誰でもご覧いただけます。地域に帰りましたら周知をお願いします。また、丸子地域自治センターだよりも研究会について載せる方向で考えていきたいと思っております。

(会長) 以上で本日の会議を閉会します。